

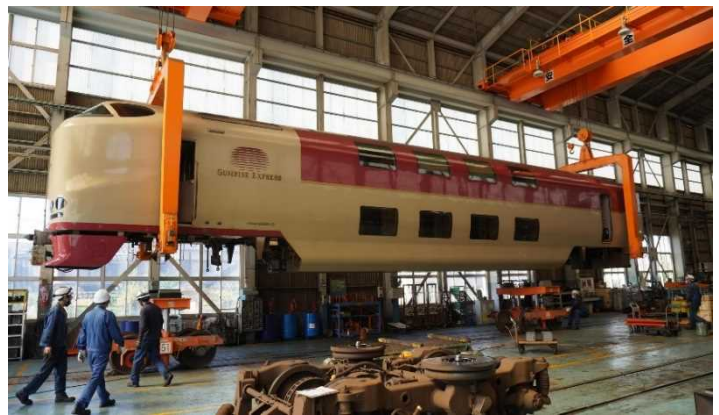


業種：輸送用機械器具製造業

会社概要：鉄道車両、鉄道施設機械器具の
検査・修繕及び改良工事

所在地：鳥取県米子市日ノ出町2丁目1番1号

ホームページ：<https://gkk-yonago.co.jp/>



会社のPR情報

当社は、昭和42年5月に国鉄後藤工場の部品運搬等を行う「後藤興業有限会社」として発足し、その後、鉄道車両の修繕や設備機械工事を実施するなど事業を拡充してまいりました。そして平成7年6月に「後藤工業株式会社」と社名変更し、現在はJR西日本の鉄道車両の定期検査・修繕、リニューアルなどの工事をはじめ、一畑電車の車両新製などの地方鉄道車両の工事も行ない、インフラを支える企業として役割を果たしています。

さらに、とっとり花回廊のフラワートレインの製作や設備機械にかかる公共工事など、培ってきた技術力を活かした事業展開を進めています。

私達は、鉄道車両に係る技術・技能の更なる向上を図り、安全と品質にこだわり、お客様のご要望にお応えし、常に良い車両・設備機械を提供できるように日々研鑽するとともに、企業活動を通じて地域社会に貢献することを目指します。

会社からのメッセージ

多様な人材の受入れと能力発揮という考え方である「ダイバーシティ&インクルージョン」の意識を常に持ち、障がいの有無に関係なく、社員一人ひとりが、やる気や生きがい、働きがいを感じながら、生き生きと働ける心理的安全な職場創りに邁進しています。

そして、地域のハローワークや特別支援学校、就労支援機関などと連携し、様々な障がいを持つ皆さんが社会に参画するためのきっかけとなる、職場実習の積極的な受入れを通じて相互理解を深めることで、組織の中にイノベーションが生まれる風土づくりを進めて参ります。



後藤工業株式会社



2022年8月8日

障害者雇用への取組の成果

数的側面

雇用状況	実雇用率	3.04%
定着状況	平均勤続年数	5年以上

体制づくり

とっとり障がい者仕事サポーター養成講座（出前講座）を障害者を配置している部署だけではなく、社長、役員、各部署の責任者も受講することにより、障害のある人に対する理解促進を行っていくとともに、行政機関等が開催する障害者の就業に関するセミナーなども積極的に受講して、社員の誰もが働きやすい職場環境を広げ、安定した業務運営の充実に図っている。

また、全従業員を対象とした研修も座学だけでなく、ディスカッションも取り入れ、障害者にも関連してくるハラスメントや差別なども従業員間で意見交換しながら意識、知識等の向上に努めている。

仕事づくり

支援機関による職場見学、職場実習に協力し、障害者トライアル雇用にて精神障害者を受け入れた際にも、支援機関と本人も交えてケース会議を重ね、情報共有を行うことによって職場に定着できるよう取り組んでいる。

労働局、県、特別支援学校が開催する各セミナー、学校見学など積極的に参加し、障害児者に関する知識、情報を習得し、将来的な障害者雇用への体制整備を進めている。

環境づくり

産業医面談を実施している。また、従事業務により、年2回の特殊健康診断を実施するとともに生活習慣病予防検診受診者には経費補助をし、従業員の健康維持に努めている。

病気で欠勤する場合に、一定の条件を満たせば、年次有給休暇以外に使用可能な保存休暇の制度を設けている。病気休職中の社員が、一箇月を限度に職場復帰訓練として出社を行うリハビリ出社制度がある。

新型コロナウイルス感染対策が契機ではあるが、テレワーク（在宅勤務）、時差出勤を制度として導入し、感染対策と障害特性に配慮して整備している。

業務に有効な資格取得に係る研修費用、受験費用は企業負担し、自己啓発の場合でも費用補助を行うなどキャリアアップを図り、ボランティア活動には年次有給休暇とは別枠の有給休暇を制度化するなど外部活動への参加も推奨している。